

# デジタルトランスフォーームした学校で 友達はつくられるか

角川ドワンゴ学園 N高等学校 校長

奥平博一  
おくひら ひろかず



2020年度、N高の本校がある沖縄県うるま市と連携して、島しょ部の小規模小中学校のプロジェクト学習や放課後のクラブ活動・部活動についてのインターネットを活用した連携事業を角川ドワンゴ学園として開始する。島しょ部の小中学校は一学年10〜15名と規模が非常に小さい。連携する学校の1つである津堅小中学校は小学1年生から中学3年生の生徒数が16名だ(2019年度時点)。N高の本校として廃校になった小中学校を使用している。これは、沖縄県うるま市の島しょ部に限った話ではなく、現在、日本各地の有人離島や中山間地域でも同様の課題を抱えており、学校現場ではプロジェクト学習やクラブ活動、部活動の実施が困難になっている。

今回の連携事業では島しょ部に点在する複数の小規模な公立小中学校をインターネット

でつなぎ、学校や地域の垣根を越えたオンラインでのプロジェクト学習や部活動を実現しようとしている。オンライン化が進む未来においては、島しょ部の特異性が大きなポテンシャルとなる。そのときに教科学習プラットフォームの学びが生きてくると考えている。

## 友達ができるネットの新しい学校

2016年の開校以来、N高は入試選考に学力基準を設けず広く生徒を募り、成績優秀層からスポーツが得意な生徒など多様なバックボーンを持つ生徒が入学している。インターネットを活用することでいつでもどこでも学習を進められるため、住んでいる地域もさまざまだ。開校時は1482名だった在校生も、2020年4月現在は1万4852名となった。

高校卒業資格の取得に必要な英語、国語、

数学、理科、社会のような科目学習や、プログラミングなどの課外学習のための映像授業など、ネットを駆使して教育を提供してきた。しかし、それらと同様に特に重視してきたのが、オンラインでのネット部活やワークショップなどの課外活動や、ネット入学式、ネット遠足などの学校行事を通した「友達づくり」だ。

## —部活

ネット部活の美術部には700名以上の生徒が所属する。週1回の部活ホームルームと月2回のプロによる作品添削指導がある。最も活発なのは、部室にあたるSNS内の美術部チャンネルで、各生徒が描いた絵を日々投稿し合う活動だ。そこでは、それぞれの個性を褒め合う文化があり、投稿された絵には「素敵!」や「Good」などのリアクションが付く。オンラインで相手の顔が見えないから



沖縄伊計本校



ネット遠足

© 2012-2020 ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/  
SQUARE ENIX All Rights Reserved.

1日あたり5万〜6万件にも及ぶコミュニケーションが発生している。卒業生からは「N校のStackを卒業したくない」という声もあがっているほどだ。冒頭で紹介した島しょ部の小規模小中学校との取り組みは、このように今まで取り組んできたオ

学校という場はもとより授業による知識の伝達と獲得のためだけでなく、部活動や委員会活動、文化祭や体育祭など、コミュニティに参加する過程で生じる社会的、協働的な学習が発生する場だった。新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、オンライン教育を導入する教育機関が増えている。学校のデジタルトランスフォーメーションは加速されていくことになるだろう。Society 5.0時代に向けて教育のデジタルトランスフォーメーションを進めていこうとするとき、インターネットを活用した学校が「知識の提供と獲得の場」としてだけでなく、「友達と出会うことができ、仲間がつかれる場」であることも大切にして、忘れないようにしたい。

こそ、ポジティブに認め合う文化を醸成することに力を入れている。

— 遠足

ネット遠足を開催しはじめた当初は、良くも悪くもさまざまな声があがった。現在は、全国各地から1回に200名以上の生徒がオンラインでドラクエXのバーチャル空間に集まるかたちで、ネットでの遠足を実施している。リアルの遠足では同じ班にならない限り、初対面の人に話しかける機会はありませんが、ネット遠足では多様な交流が生まれる。そういう意味で、友達づくりのきっかけとしては非常に有効と感じている。

— ワークシヨップ・体験学習

これまでリアルで実施してきたワークシヨ

ップや、体験学習もコロナ禍以降はすべてオンライン上で開催している。LGBTQ (Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Questioning)・D&I (Diversity & Inclusion) をテーマにしたワークシヨップや、創造性やリーダーシップをテーマにしたワークシヨップには毎回、全国各地から数十名の生徒が参加し、同じ興味を持つ生徒同士が知り合う場になっている。

上記のようなネット上での活動や日々のコミュニケーションを可能にすべく、当校ではすべての生徒と教職員にStackのアカウントを提供している。Stack上には約50000のパブリックチャンネルがあり、部活やホームルーム、趣味ごとの雑談などに使われている。

ンラインでのワークシヨップやプロジェクト学習、ネット遠足やネット部活で培ってきた「ネットの学校生活からの学習」「友達づくり」の延長線にある。

## 教科学習だけではない学校のデジタルトランスフォーメーション

世界各国の教育改革で共通している課題は、「学習の改革」であると言われている。従来の教科の枠組みが見直されつつある一方で、21世紀型スキルやデザイン的思考、STEM教育などが重要視されている。これまでの教育の画一的で受動的で個人主義的な傾向が見直され、21世紀の教育の基本的方向性として学習の自律的、活動的、協働的な性格が強調されていると言ってもいい。